

議事要旨

会議名	令和7年度第2回芦屋中央病院評価委員会			会場	芦屋町役場 4階44会議室	
日 時	令和7年8月6日（水） 午後2時00分～午後2時45分					
件名・議題	1. 議題 （1）第1回評価委員会議事要旨について （2）令和6事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について 2. その他 （1）今後のスケジュール					
委員等の出欠	委員長	村松 圭司	出	オブザーバー （病院）	櫻井 俊弘	出
	副委員長	貞安 孝夫	出	オブザーバー （病院）	瓜生 康平	出
	委員	中野 徹	出	オブザーバー （病院）	森田 幸次	出
	委員	松山 みどり	出	オブザーバー （病院）	竹井 安子	出
	委員	吉野 任	出	オブザーバー （病院）	檜田 房男	出
	委員	萩原 洋子	出	オブザーバー （病院）	市村 修	出
	事務局	溝上 竜平	出	オブザーバー （病院）	中野 悟子	出
	事務局	福井 幸太	出	オブザーバー （病院）	坂本 林太郎	出
	事務局	松浦 裕二	出			
概要	・第1回評価委員会議事要旨の内容について了承を得た。 ・令和6事業年度における業務実績報告書の委員会評価を決定した。 ・令和6事業年度における業務実績報告書について、今後のスケジュールを説明した。					
署 名						

○議題（１）第１回評価委員会議事要旨について

- ・事務局より第１回評価委員会議事要旨について説明。

（委員長） 事務局から説明のあった第１回評価委員会議事要旨について意見・質疑はないか。

・・・「意見・質疑なし。」・・・

（委員長） それでは、第１回評価委員会議事要旨についてはこのとおりとし、後日、町のホームページに公開する。

○議題（２）令和６事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について

- ・事務局より業務実績報告書の病院評価と委員評価に相違がある５項目について説明。

（委員長） それでは、各委員から提出していただいた評価を元に評価委員会としての評価を項目ごとに決定していく。法人評価と委員評価が一致している項目はこのままで良いと思うが、異なっている項目について審議していただくという事で問題ないか。

・・・「異議なし。」・・・

（委員長） それでは、まず「１ 医療サービスにおける役割・機能の最適化と連携の強化」についてだが、「（３）地域医療連携の強化」が法人評価Ⅳに対し、委員評価Ⅴの方が一名いるが、意見はないか。

（委員） 私がⅤの評価としたが、他の病院も厳しい経営状況の中、様々な取り組みをされていることを評価した。ただし、Ⅳの評価でも問題ないと思う。

（委員長） 病院にお尋ねしたいが、評価がⅤであれば、これ以上伸びしろが無いということになると思うが、地域医療連携について今後改善の余地がある点や、他に取り組める事などはないのか。

（病院） まだまだやるべき事があると思っている。電子カルテの共有化や地域の診療所との連携など、難しい取り組みではあるが今後行っていきたい。

（委員長） 医療ＤＸなど、今求められている事に対してやるべき事があるのではないか

と思う。他に意見はないか。

・・・「意見なし。」・・・

(委員長) それではこちらの項目については、法人評価どおりⅣとさせていただく。
次に「２医療の質の向上」についてであるが、「(１) 医療安全の徹底」が法人評価Ⅳに対し、委員評価Ⅲの方が一名いる。この項目について病院から追加資料を本日配付させていただいている。病院より説明をお願いします。

(病 院) 前回の評価委員会でインシデントの段階別の発生件数について質問があったため、資料をお配りさせていただいた。内容は２０２４年度に発生したインシデント・アクシデントの部署別の件数や内容を取りまとめた物になっているので後ほど確認していただきたい。

(委員長) 何か意見はないか。

(委 員) 私は評価Ⅲとしたが、他の委員の評価どおりⅣでも問題ないと思う。

(委員長) その他意見はないか。

・・・「意見なし。」・・・

(委員長) それではこちらの項目については法人評価どおりⅣとする。次に「３. 患者サービスの向上」についてであるが、「(２) 患者快適性及び職員の接遇の向上」が法人評価Ⅲに対し、委員評価Ⅳの方が一名いるが、意見はないか。

(委員長) コメントの中で「外来患者満足度調査の目標が高かったのではないか」という記載がある。外来・入院とも満足度の計画点数が７．３０だが、この点数とした経緯を病院から説明していただきたい。

(病 院) 最終的な計画点数を７．５０としており、毎年０．１０ずつ上げていく計画としている。

(委員長) 外来満足度の結果は７．１０と目標値をやや下回っているが、入院満足度の結果は８．６４と大きく上回っている。そのためⅣの評価でも良いと思うが、病院としてⅢ評価とした理由は何か。

(病 院) 入院外来満足度は計画より大きく上回っているが、外来満足度が下回っている点を考慮してⅢ評価とした。

(委員長) 承知した。入院患者に対しては満足度が高いということを記載して病院にフィードバックしてもらえたら良いと思う。それではこちらの評価は法人評価どおりⅢとする。

次に「(4) 地域住民への医療情報の提供」が法人評価Ⅳに対し、委員評価Ⅴの方が一名いるが、意見はないか。

(委 員) 「町内のみならず、近隣地域まで情報提供の機会を広げており、大いに評価できる」ということでⅤの評価としたが、今後の伸びしろがあるのであればⅣ評価でも良いと思う。

(委員長) 病院にお尋ねするが、広報誌の活用等により今後まだ取り組めることはあるのか。

(病 院) 取り組みについてまだ始まったばかりなので、これからますます充実していきたいと考えている。

(委員長) 院内の情報の分析と、診療情報管理士等を活用していただき、地域医療が充実するよう頑張っていただきたい。それではこちらの項目は法人評価どおりⅣとする。

次に「2 業務運営の改善と効率化に関する事項」についてだが、全ての項目において法人評価と委員評価が一致しているため、記載どおりの評価とさせていただきます。

最後に「3 財政内容の改善に関する事項」だが、「(1) 健全な経営の維持」が法人評価Ⅳに対し、委員評価Ⅴの方が一名いるが、意見はないか。

(委 員) 自治体病院では8割9割が赤字の状況の中、黒字経営なのは素晴らしいことである。国も様々な取り組みを行っているが他の自治体病院は厳しい状況であり、黒字を維持していることをもっとアピールしてほしい。

(事務局) それは理事者にも報告している。新型コロナウイルスの補助金が無くなった中でも黒字を維持しており、芦屋中央病院が頑張ってくれているということは町も理解している。

(委 員) 中期計画を立てた時とは様々な状況が変わっている中、このような成果を上げているということは素晴らしく、Vの評価でも良いと思う。

(委員長) その他意見はないか。

(委 員) 病院の運営において今後様々なビジョンがある中でVの評価にしてしまうとそれ以上評価は上げられないのではないかと。評価をIVとするかVとするか整理したほうが良いと思う。

(委員長) 私は国の委員会などに携わっているが、国の財務省や総務省が赤字の公的病院の改善を色々に行っている中で、芦屋中央病院は全国のトップ5%に入る成績を収めている。健全な経営の維持という事に関して、これ以上上を目指すのは非常に難しいと思う。

(委 員) 黒字は素晴らしいと思うが、今後環境はさらに厳しくなると思う。人手不足を補えていない状況もあり、1・2年後に何らかの歪みが出ることも考えられるため、IVの評価とさせていただいた。

(委員長) 6年度の単年度評価としてはVの評価でも良いか。

(委 員) Vの評価でも問題はないが、今後経費の面ではポジティブな要素がないので来年度以降の評価が厳しくなるのではないかと思う。

(委員長) 5年度の評価の際にはコロナウイルス補助金がなくなっても黒字を確保できており、Vの評価としたという記憶がある。6年度は黒字額が半減していることにより病院は自己評価をIVとしているのだと思う。病院から意見はないか。

(病 院) 単年度の評価としてはIVの評価となるかもしれないが、職員の頑張りを評価していただきたい。来年度診療報酬の改定が行われるが、医療機関に有利な改定になると想定している。様々な経費が上がっている中で、今年度黒字を継続できるかどうかは非常に厳しい状況である。だからこそ昨年度の頑張りを評価していただきたいという気持ちはある。

(委員長) 5年度と比較すると非常に厳しい状況だったと思うが、その中で経常利益を半分にしながらも黒字を達成しているというのは非常に良く頑張っていると

思う。そういった点ではVの評価で委員長としては良いのではないかと思う
が意見はないか。

・・・「意見なし。」・・・

(委員長) それではこちらの項目の法人評価はIVだが、委員会としての評価はVとさせて
いただく。他に意見はないか。

・・・「意見なし。」・・・

(委員長) では、議題2は終了とする。その他について今から事務局から説明をお願い
する。

○その他

・今後のスケジュール等について説明

(委員長) 何か質疑はないか。

・・・「質疑なし。」・・・

(委員長) それでは、以上で本日の委員会は終了する。

(閉 会)